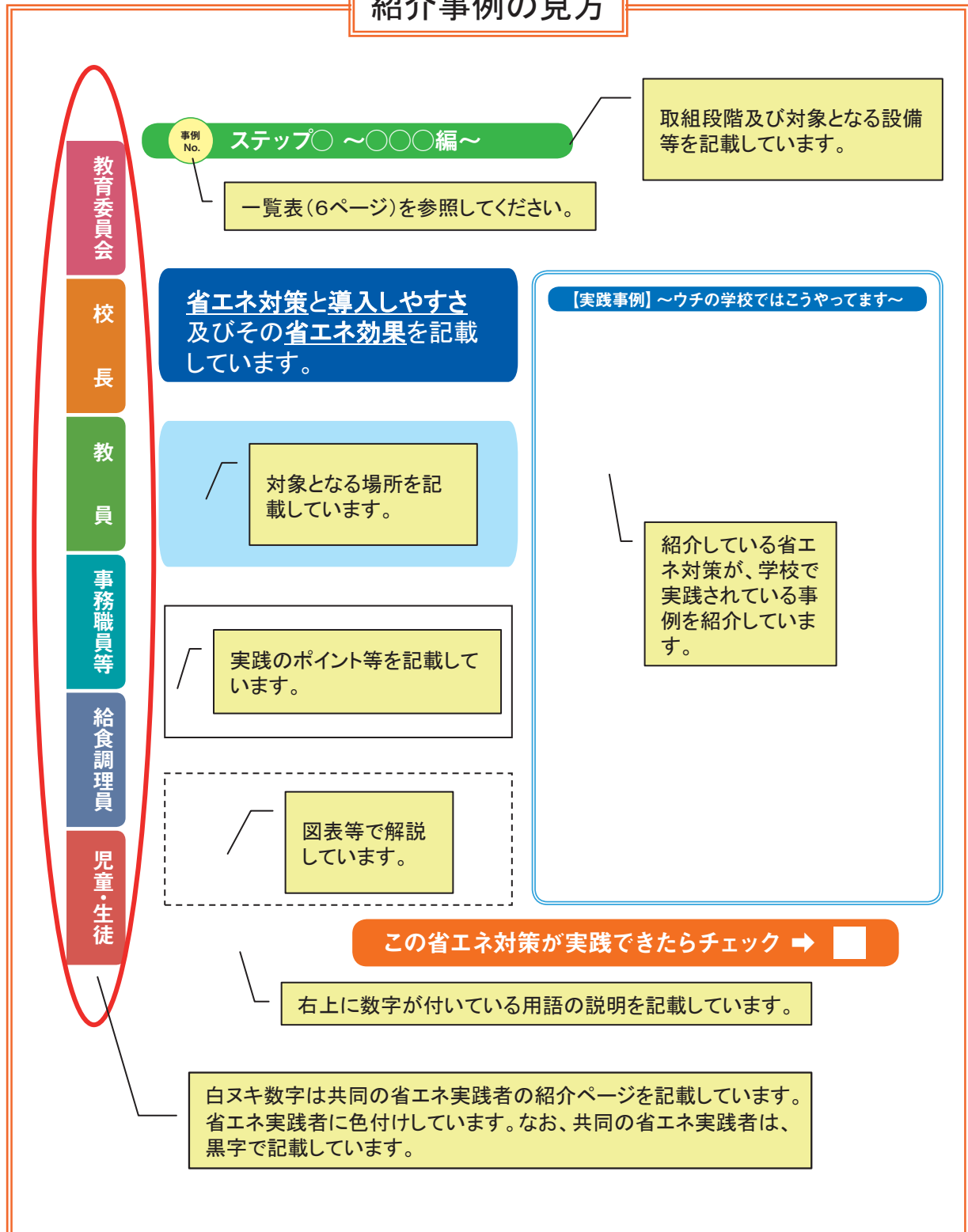


3. レッツ！ 省エネ

紹介事例の見方



事例
No.52

ステップ1 ～その他編～

教育委員会

校長

教員

事務職員等

給食調理員

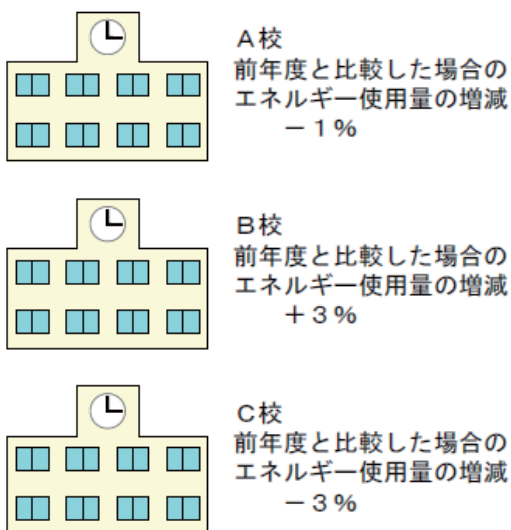
児童・生徒

各学校の取組内容等の把握

導入しやすさ	レベル2
省エネ効果	★

学校ごとで取り組むことができます。

- ➡ 各学校の省エネ対策の取組内容やエネルギー使用量(電気使用量、ガス使用量等)等を把握しましょう。
- ➡ 特筆すべき事例を各学校に情報提供し、全学校に広めていくことは、省エネ対策に効果的です。



各学校の「エネルギー使用量の集計・把握(事例No.51(76ページ)参照)」ではC校の取組が最も効果がでていますね。
C校の取組内容を、A校とB校にも紹介しましょう。



この省エネ対策が実践できたらチェック ➡

エネルギー管理 マニュアルの作成と活用

導入しやすさ レベル2

省エネ効果 ★★★

主要設備で取り組むことができます。

- ➔ 「いつでも」、「誰でも」、「同じ管理」ができるよう、設備ごとにエネルギー管理マニュアル¹を作成しましょう。
- ➔ 適切な管理・保守は、機器の性能低下と劣化を抑えることができるため、長く使用できるとともに、省エネが図れます。

エネルギー管理マニュアルの例

出来ることから
はじめていきましょう！



(管理)

- 照明
 - ・昼休み中は消灯する。
 - ・使用していない部屋は消灯する。
- 空調
 - ・エアコンの温度設定を暖房20℃、冷房28℃とする。
 - ・エアコンの運転時間を季節に応じたものとする。
 - ・不在時のエアコンの運転を停止する。
 - ・中間期のエアコンの運転を控える。
- 事務
 - ・事務用機器を省エネモードにする。

(保守)

- 照明
 - ・半年ごとにランプを清掃する。
- 空調
 - ・半年ごとにエアフィルターを清掃する。
- 給水
 - ・毎年、プールのシーズン後に循環ポンプの点検を行う。

この省エネ対策が実践できたらチェック ➔

¹ 運用実態に適した施設・設備のエネルギー管理を継続的に行うために、自らが設定するマニュアルで「管理標準」ともいう。省エネ法において、事業者がエネルギーの使用の合理化を適切かつ有効に実施するため、設定することが求められている。

図面及び設備管理台帳の作成と活用

導入しやすさ	レベル2
省エネ効果	★

学校ごとで取り組むことができます。

- ➡ 現状の設備機器の状態や修理履歴等の把握は、適切な保守管理を行っていくうえで欠かせません。
- ➡ この把握した情報をもとに、計画的な設備の維持管理や高効率化を行いましょう。

設備管理台帳の例

室名称	設備の種類	メーカー名・機種	設置年	改修履歴
教室	エアコン	〇〇	2000年	
教室	照明器具	△△	2000年	2010年照明器具交換

出来るところから取り組むことも大事だね！



この省エネ対策が実践できたらチェック ➡